

解答

問一 別のものに姿を似せて身を隠す
 問二 雜草の種子の多くは、光を当てるとき芽が始まる性質を持っているので、草むしりをしてまわりの雑草がなくなり、地面や土の中に光が差し込むと、眠っていた雑草の種たちが一斉に芽を始めるから。

問三 問四 問五 問六 問七 問八 問九 問十
 オ 雜草の生存できる場所を管理し、強い植物の侵入を防ぐ、生きていくうえでなくてはならない存在。
 エ a 漢字：旗、記号：エ
 オ b 漢字：史、記号：ウ
 オ c 漢字：息、記号：ア
 オ d 漢字：生、記号：イ

問一 淑子が入院する病院に行かなければならぬのに、いつもより遅い時間になつたので、働きに出かける母を怒らせないように、急いで帰宅したことをアピールするため。

問二 昨日から熱が出どる

ア ⑦ ↓ ① ↓ ⑤ ↓ ⑨ ↓ ②
 エ × イ × ウ ○ エ × オ × カ ○

解説

問一 線①の後に着目します。タイスビエというイネ科の雑草は人間の目を欺いて田の草とりを逃れ、イネに紛れて身を隠しているので、「別のものに姿を似せて身を隠す」という方法をとっていることがわかります。線③の前後で、雑草には「強い」というイメージがあるが、じつは、光や水を奪い合い、生育場所を争つて、激しく競争を繰り広げるような、植物間の競争に弱い植物であることを説明しているので、最も適切なものとして選択肢エが選べます。

問二 本文後半にある夕食を食べはじめる場面で、「淑子は昨日から熱が出どるから、騒いで疲れさせてはいけんよ」と母が話していることから、「昨日から熱が出どる」を抜き出して答えます。
 問七 本文後半の「母は言つて」ではじまる段落にある「淑子が入院をしてから母は夜も道後の街に働きに出るよになつた。」という記述から、選択肢ウが○になります。また、本文中盤にある徳造爺さんのことを思い出す場面から、爺さんが独りで暮らす上市の家に、母に言われて煮物を届けにいったことがわかるので、選択肢カになります。その他は本文中の内容に合いません。